

# 中小企業経営トップセミナー

## 「KZ 法」による現場経営改善

中小企業委員会後に、「KZ 法」による現場経営改善」と題し、(株)改善コンサルタンツの柿内幸夫氏を招いてセミナーを開催した。

柿内氏は、大手自動車メーカー退職後、改善コンサルタントとして独立。その後、様々な中小企業に深く入り込み現場の人たちと一緒に考えながら改善を進める実践指導に、これまで関わってきた社長、工場長はもとより現場の人たちに絶大な信頼をよせられている。

### < KZ 法の概要 >

参加者：社長、役員、製造、その他会社の機能を代表する管理職(営業、設計、技術、購買、経理、生産管理等)合計で最大30名程度。

時間：3時間以内、生産を停止する

場所：製造現場で、一望できる広さ

方法：

全員で1人30枚程度のカードを「すぐに使わない」あるいは「問題」と思われるモノに貼る。

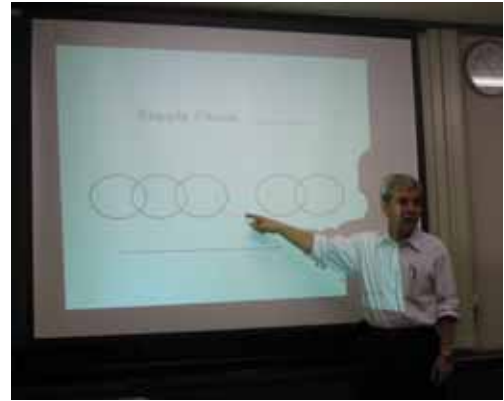
カードが貼られたモノを外に出して1箇所にもとめる。(そこで「不要」「不急」「要」に分類)

この時点で、2つの現象が目の中の現場・現物で現れる。

(1) 不要なモノが取り除かれた現場  
あるべき姿(擬似的な理想の姿)

(2) 外に出された不要なモノの集まり  
問題を示すギャップ

問題(移動したモノの集まり)に対して原因と対策を全員で論議



(熱弁を振るって講義する柿内氏)

社長が全員の前で全社一丸となった改善を宣言し、方針を示す

このような活動を行うことにより、現物を目の前にしているのので、これまで気付かなかった問題の認識ができ、参加者全員で問題を論議でき、解決の方向が見えてくる。また、全員で論議することで参加者全員に意識変化とモチベーションが生まれる。また、社長が現物を目の前にしているのので、全員の前で分かりやすい目標を自信を持って示すことができる。

柿内氏からは、これまでの改善成功事例や実際に KZ 法を実施している映像を織り交ぜながら、参加者に解りやすく丁寧にご説明戴いた。

ご興味のある方は、「KZ 法」工場改善」という DVD が日本経営合理化協会出版局より発売されているので、是非そちらの DVD を見て戴きたい。